

1 主な取組(今後の予定も含む)

(1) 勤務時間の適正化に関する検討委員会

- ・平成26年度から、定例教頭会の場をこの検討委員会として実施している。
- ・本年度は、4月23日、6月25日、9月26日、11月14日、1月23日を計画。

【主な内容】

- ・市の課題及び努力目標の提示(昨年度の反省をもとに作成)

<重点取組>について説明(教頭会→校長会)

ア 週1回以上の「定時退勤日」を完全実施する。(※)

イ 「ノー部活デー」週あたり2日以上以上の休養日を設定する。(※)

(平日及び土日等の休業日にそれぞれ1日以上)

ウ 「ノー会議デー」を週1回以上実施する。(※)

エ 学校業務改善に係る会議を年間3回以上実施する。

オ 「記録簿」により勤務時間を正確に記録し、タイムマネジメントに努める。

カ 先進事例集「GPH50」の活用し、実効性が上がる取組を推進する。

(※)…学校だより等で保護者や地域に伝えるとともに、校内掲示等で意識化を図る。

(2) 実態調査の実施(10月)と結果報告(11月)

(3) 校長の評価・育成シートの項目に「教職員の勤務時間の適正化」を入れ、ヒアリングの際に取組状況を確認する。

(4) 広報等(市広報(6.7月号)掲載予定)

ア 定時退勤日の取組

～子どもたちと向き合う教育環境づくりの一環として～

「教職員定時退勤日」および「ノー部活デー」の実施について

近年、学校において求められる教育課題が複雑化・困難化するとともに、役割の多様な教職員の業務が増加しています。学校現場を取り巻く状況が大きく変化する中で、教職員の職務は多岐にわたり、その時間的・精神的負担が増大し、全国的な課題として、その対応が求められています。

兵庫県では、兵庫の教育に携わるすべての教職員が心身ともに健康で、児童生徒と向かう時間がしっかり確保され、教育活動がさらに充実されるとともに、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のとれた充実した生活が送れるように、方針が策定されています。

朝来市教育委員会でも、教職員のワーク・ライフ・バランスを実現し、すべての教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の児童生徒に向き合うことのできる環境づくりのため、各校で週1回の「教職員定時退勤日」を実施します。

また、今年度も、生徒のゆとりある生活の確保とスポーツ障害等の防止、教職員が生徒と向き合う時間を確保するため、部活動のない日「ノー部活デー」を実施します。

これらの取組を進めるように今年度も各校に指導をしていますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

学校教育課 Tel 672-4930

イ 盆期間の学校閉所

今年度は 8月13(火) 14日(水) 15日(木) 16日(金)に小・中学校を閉所します。

朝来市では、夏季休業日中で学校の行事・活動を組まない[お盆]の期間(今年度は8月13日(火)～16日(金))を、小・中学校の業務を行わない閉所日とします。

児童・生徒にとって長期休業日となる小・中学校の夏季休業日ですが、教職員は児童・生徒の指導(学力補充、部活動など)、職員研修、学校運営についての会議や、環境整備などを行っています。

教職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現の一環として、また、学校施設(光熱費等)維持費削減のため実施します。

この期間、やむを得ず学校への連絡が必要な場合は、学校教育課までご連絡いただければ、該当の学校へ連絡します。

学校教育課 672-4930

- (5) 学校事務等に係る負担軽減のための校務運営システムの本格的運用
- ・平成 29 年度に、各校から教頭、情報教育担当者による選考委員会を立ち上げ、機種やソフトの選考を行った。
 - ・平成 29 年度中に、平成 30 年度の運用に向けた学校ごとの研修会を実施した。
 - ・平成 30 年度、5 月から 6 月にかけて、学校ごとに児童生徒名簿、通知表、指導要録等の様式の取り扱い等に係る研修会を実施した。(1 校 90 分間)
- (6) 市教委の取組（勤務時間の適正化に向けた取組の推進）
- ・原則として 17 時 30 分以降のメール配信は控え、有意義な調査に徹する。
 - ・部活動指導員、学校運営協議会設置など、学校教育の資質向上を研究する。

2 現状（令和元年 5 月現在）

項目 学校名	定時退勤	ノー会議デー	ノー部活		I T 化			
	週 1 日	週 1 回	平日	土日	成績	出席	通知表	要録
和田山中	ほぼ(金 19:00)	ほぼ	完全	完全	○	○	○	○
梁瀬中	ほぼ(水 19:00)	ほぼ	完全	ほぼ	○	○	○	○
朝来中	ほぼ(水 19:00)	ほぼ	完全	完全	○	○	○	○
生野中	ほぼ(水 17:30)	ほぼ	完全	完全	○	○	○	○
枚田小	ほぼ(金 17:30)	完全	—	—	○	○	○	○
東河小	ほぼ(金 17:30)	ほぼ	—	—	○	○	○	○
大蔵小	ほぼ(金 17:30)	完全	—	—	○	○	○	○
竹田小	ほぼ(水 17:30)	ほぼ	—	—	○	○	○	○
糸井小	完全(金 17:30)	完全	—	—	○	○	○	○
梁瀬小	ほぼ(金 17:30)	ほぼ	—	—	○	○	○	○
中川小	ほぼ(木 17:30)	完全	—	—	○	○	○	○
山口小	ほぼ(金 17:30)	ほぼ	—	—	○	○	○	○
生野小	ほぼ(水、金 18:00)	完全	—	—	○	○	○	○

3 加配校への具体的支援

(1) 事務加配の有効活用

ア 校内において

(ア) 授業・校務の効率化、I T 環境の整備を図るための活用

(イ) 備品、文書整理 など

イ 校外において

(ア) 市内事務研究会との連携

(イ) 市内アンケートの集計 など